

はじめに



市民の皆様には、平素から市政発展のため格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、介護保険制度は、平成12年に施行され、まもなく13年目を迎えようとしています。この間、介護を社会全体で支える制度として普及・定着してきましたが、介護サービスの利用者が急激に増加する中で介護従事者の離職率が高いなど、サービスの利用と供給の双方で解決すべき課題が生じています。また、我が国の65歳以上の人口は平成22年の国勢調査では総人口の23.0%を占め、まさに「超高齢社会」の真ただ中にあり、さらに、団塊の世代がここ数年で高齢者になることから、今後高齢化は一層進むことが予測されます。

こうした状況に対応するため、国は高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した生活を営めるよう、医療、介護、予防、生活支援、住まいのサービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の実現に向けた取り組みを進めております。

こうした背景のもと、本計画については、新市として初めての計画となりますが、高齢者が介護を受ける状態にならないように高齢者の生活機能の維持、向上を図ることや、認知症に対する理解や啓発、高齢者虐待の防止、介護サービスの充実、さらには、団塊の世代が後期高齢者となる平成37年度（2025年度）までに「地域包括ケアシステム」を構築できるよう重点施策として盛り込みました。

今後とも、市民の皆様が住み慣れた地域でできるかぎり永く元気で暮らせるよう、健康で相互いを思いやるやさしさあふれるまちづくりを進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

最後に、計画の策定にあたり多大なるご尽力をいただきました久我会長をはじめ、総合介護市民協議会及び同協議会各部会の委員の皆様並びに、アンケート及びヒアリングで貴重なご意見をお寄せいただきました市民・事業者の皆様にご心からお礼を申し上げます。

平成24年3月

近江八幡市長 富士谷 英正